

診療内容

我々は、高度に専門化された形成外科医の集団です。
10人の専門医が診療にあたります。

▶ 乳腺センター 再建部門

担当：松永副センター長、金子、外術、診察日：全曜日午前
乳腺外科、放射線科、腫瘍内科と連携して診療しています。
他院で手術を受けた二次再建の方も気軽に受診ください。

▶ 先天異常外来

担当：西本講師、赤石教授、診察日：毎週月火木午前
多指症・合指症を中心に、様々な先天異常の手術加療を行っております。

▶ 眼瞼下垂外来

担当：桑原准教授、赤石教授、診察日：月水木金午前
最新の手術室で、安全な手術を心がけております。また、
基礎疾患や希望次第で、入院局麻手術も可能です。

▶ ケロイド外来

担当：赤石教授、診察日：月木午前、初診は完全予約制
ケロイドの基礎研究、新規手術方法の考案を行い、個人と
して国内で1・2を争う手術件数を取り扱っています。

▶ わきが（腋臭症）外来

担当：久保村講師、診察日：月曜日午前午後
腋臭症の基礎研究を行いつつ、腋臭症根治術は国内で一番
の症例数を取り扱っております。

▶ 耳介変形外来

担当：橋本非常勤講師、診察日：月1回水・金、予約制
埋没耳、小耳症の手術や、耳介変形の装具矯正を行って
おります。耳瘻孔・副耳などは随時受付付けています。

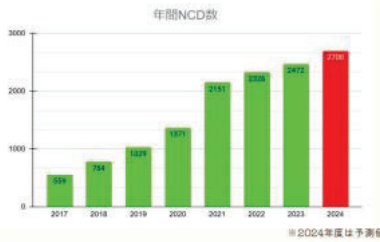
▶ 美容後遺症外来

担当：橋本非常勤講師、診察日：月1回水・金、予約制
当院は従来より美容後遺症に着目し、様々な基礎研究や手
術加療を行っております。

診療実績

当施設は、関東一円や全国・海外から患者さんが毎年増え続け
ております。NCD数（手術件数、レーザー件数）は施設の治療
件数を反映しておりますが、東京23区や神奈川県内の大学病院
形成外科の中でもトップクラスです。

引き続き、ご紹介いただく先生方や患者さんのご信頼に応える
べく、丁寧な診療を心がけてまいります。



診療時間

- ※1 土曜日は初診患者さんのみ受け付けです。
- ※2 外傷は随時受診可能ですのでお電話ください。
- ※3 ケロイド、耳変形、美容後遺症外来の初診は予約制です。
- ※4 それ以外の疾患は、担当曜日午前中に来院してください。

診療時間	月	火	水	木	金	土
09:00-11:30	●	●	●	●	●	※1
00:00-00:00	／	／	／	／	／	／



▶ 【外来担当表QRコード】

初診ご希望の方は外来担当表をご確認ください。初診予約が必要な疾患の場合、月曜日から土曜日の午前8時半～午後4時（土曜日は3時まで）に
044-712-9300
（コールセンター）
にお電話いただき、予約をお取りください。

※熱傷・顔面骨骨折・皮膚腫瘍・脂肪腫・糖尿病性潰瘍・陥没乳頭・耳瘻孔などの疾患にも幅広く対応しております。



いつもご紹介いただき
誠にありがとうございます

日本医科大学
武蔵小杉病院

形成外科

診療内容

▶ レーザー部門

診察日：毎週 火曜日午前、水曜日午後

血管腫のレーザー治療・手術・
ヘマンジオール導入、異所性蒙古斑
・太田母斑などのレーザー治療
など、あざに関するすべてを広く
取り扱っており、血管腫患者数は
東日本でも有数の治療件数です。
ただレーザーを当てるだけで
なく、必要に応じて小児科や
放射線治療科と連携して総合的な
治療を進めております。



西本講師
（部門長）



※血管腫・血管奇形の種類、ISSVA分類では主に下の表のよ
うな分類があります。血管腫・血管奇形の種類によって性質
（自然消滅するか否か）や病変の深さが異なるため、診察の
上診断し、適切と思われる治療方法を選択します。

血管異常		
血管腫	血管奇形	
良性	単純型	混合型
乳児血管腫	毛細血管奇形 (CM)	(単純型の組み合わせ)
先天性血管腫	リンパ管奇形 (LM)	
膀胱血管腫	静脈奇形 (VM)	
その他良性血管腫	動静脈奇形 (AVM)	
境界性	動静脈腫 (AVF)	
悪性		

診療内容

▶ 皮膚がんセンター

診察日：毎週水曜日・金曜日午前

いつもご紹介いただきまして、
誠にありがとうございます。当院
皮膚がんセンターの一員として、
皆様との連携に深謝致します。
当センターでは、最新の医療
技術と集学治療を中心に総合的な
アプローチをもって、皮膚がんや
軟部悪性腫瘍の診断及び治療を行
っております。何卒、今後とも変
わらぬご支援とご協力を賜ります
ようお願い申し上げます。



桑原准教授
（センター長）



末梢黒子型悪性黒色腫
の切除と荷重部の再建

放射線治療科

新病院移転に伴い2021年より、地域の皆様へ放射線治療
を提供することが可能になりました。患者様が遠方まで
通院する負担を軽減し患者様一人ひとりに最適な治療を
提供することを目指しています。スタッフ一同、皆様の
健康を支えるために全力でサポートさせていただきます



化学療法室



当院では、薬物療法の専門医
である腫瘍内科医が扱っています。
また、当院では、膠
原病内科の専門医も常勤して
いるため、重篤な免疫関連の
副作用が出た際には、膠原病
内科と連携して診療すること
にしているため、安心して投
与を受けることができると思
います。
（腫瘍内科部長 勝俣範之）

皮膚病理部門

治療の前には正しい診断が必須で、皮膚科医は見ても判断
する他に、ダーモスコープという検査器具を使い診断し
ます。さらに精査が必要な場合は、皮膚生検と言って病
変の一部を切除し、病理組織学的に検査します。皮膚科
には皮膚病理に精通した医師もおり、実際に皮膚病理診
断を行っています。

（副センター長 伊東慶悟）

